

神奈川県偕行会セミナー

事務局長

正本 禎亮 陸自69

8月28日(日) 10時～11時30分、かながわ県民センターにて、3年ぶりに講演会を開催いたしました。

防人と歩む会会長・やおよろずの森代表「葛城奈海」氏を迎え、「戦うことは「悪」ですか」の講演を拝聴いたしました。

講演の要旨は、

- 一、はじめに
 - ・ アンチ自衛官から予備自衛官になった経緯

二、国を守ること

- ・ 尖閣諸島を守る
- ・ 拉致被害者奪還
- ・ 先人たちの慰霊顕彰、そして思いの継承

は、今回も富澤暉相談役だけでした。

神奈川県偕行社以外では、柳澤壽昭埼玉偕行会会長、今野茂雄埼玉偕行会副会長、和田明範偕行合唱団団長、秋山陽一郎・石原富雄・橋本百合博・森充偕行合唱団団員、現役自衛官1名、知人1名の計9名が参加してくれました。ありがとうございました。

・ 皇統を守る

・ 自衛隊のあるべき姿とは

三、 自然を守る

・ 一木一草にも神が宿るといふ自然観の継承

・ 麻あつての日本、大麻の真実

・ 古事記の時代から続く日本の捕鯨

四、 まとめ

・ 建国の理念「八紘為宇」、大和

・ パラオで感じた大和魂

和霊（みぎみたま）と荒霊（あらみたま）

・ 「鬼滅の刃」大ヒットにみる「尚武の精神」への渴望

尖閣諸島海域渡航15回、北朝鮮向け短波放送「しおかせ」アナウンス担当、サイパン・パラオ慰霊顕彰、予備自衛官訓練参加等々現場体験をもとに発信する言葉に、参加者全員心を揺さぶられたと思います。

なお、【戦うことは「悪」ですか】は、第4回アパ日本再興大賞を受賞し、扶桑社から出版されています。

神奈川県偕行社の活動起爆剤となりうると思いましたが、偕行社からの参加者は、熊幼48三輪長正、自54島津隆好、自60富澤暉、自61高木幸雄、自68木村毅、自69篠田芳明・齋田俊秀・正本禎亮・吉川佐賢、自78田原明彦のわずか10名でした。いつものことですが、神奈川県に在住する偕行社役職者の参加